

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

評価機関

名称	株式会社 H.R.コーポレーション
所在地	西宮市甲陽園本庄町6-25-224
評価実施期間	2014年 5 月 1 日 ～ 2014年 11 月 13 日 (実施 (訪問) 調査日 2012年 7 月 25 日 2012年 7 月 31 日)
評価調査者	K-0401004 K-0401008 K-0401010 HF-12-1-021

※契約日から評価
結果の確定日まで

福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称: 特別養護老人ホーム (施設名) 姫路・勝原ホーム	種別: 介護老人福祉施設
代表者氏名: (管理者) 石田 文徳	開設(指定)年月日 平成 元 年 7 月 1 日
設置主体: 経営主体: 社会福祉法人やながせ福祉会	定員: 50 名 (利用人数) 32 名 ショート 18名
所在地: 〒 671 - 1201 兵庫県姫路市勝原区下太田573	
電話番号: 079 - 273 - 1311	FAX番号: 079 - 273 - 4321
E-mail: ho-mu@katuhara.or.jp	ホームページアドレス: http://www.katuhara.or.jp/

(2) 基本情報

<p>理念・方針</p> <p><理念></p> <p>利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重し出来る限りの生活の質の向上を図る (処遇の基本理念)</p> <p>①自己決定の尊重 利用者自身の主体性や意思を尊重した処遇</p> <p>②ADLの向上を目指す 残存能力を活用して、心身の自立を目指す援助や支援</p> <p>③利用者の生活を豊かにする</p> <p><基本方針></p> <ul style="list-style-type: none"> 施設は、施設サービス計画に基づき、可能な限り、在宅における生活への復帰を念頭において、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理、及び療養上の介護を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることを目指す。 施設は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って指定介護福祉施設サービスの提供に努める。 施設は、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、市町村保険者(以下保険者という)、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、他の介護保険施設その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努める。

力を入れて取り組んでいる点

- 1) 保育園と併設しており、日々の行事や交流会もおこなっている為、活気がある。
- 2) 地域住民(ボランティア)の協力や交流の場を設けているため、地域全体で支援している。
- 3) 日々の介護以外でも、生きがい活動(余暇活動)に力を入れて取り組んでいる。

職員配置	職種	人数	職種	人数	職種	人数
※()内は 非常勤	施設長	1 ()	事務員	2 (3)	生活相談員	1 ()
	介護職員	21 (8)	看護師	3 (3)	管理栄養師	3 ()
	医師	(1)	機能訓練指導員	1 ()	介護支援専門員	1 ()
	調理員	2 (11)		()	その他	()

施設の状況

施設周辺には見慣れた田畑や住宅の風景が広がり、施設と隣接した幼稚園からは子どもたちの楽しそうな声が聞こえ、心身機能の低下により地域との交流が難しくなっても支援を受けながらこれまでの生活感を感じ過ごすことが出来る環境にある施設である。法人全体で「いたわりと 思いやり」「地域福祉の拠点」として西播磨地域の老人福祉の状況を把握し、利用者一人ひとりの生活の質の向上を図るようにニーズと意思を尊重したケアの提供を行なうように努めている。

評価結果

○ 総評

◇ 特に評価の高い点

*サービスの質の向上について、安全対策委員会・感染衛生委員会・リスク管理委員会など、法人内に15種類の委員会を設置し、毎月各委員会を開催し、各委員会ごとにサービスの質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。また、事業所内でも、各部署の代表者による職員会議、各部署での部署会議など、定期的継続的にサービスの質の向上について話し合う機会が確保されている。各委員会・各種会議には経営層・管理者等も出席し、職員の意見を把握し、現状の評価・分析に参加し、サービスの質の向上に向けた取り組みに積極的に参画している。

*習字・生け花・笑いヨガ・手芸・花の会・陶芸・誕生日会・理学療法作業療法などのクラブ活動、散歩や花見・ボランティア(銭舞踊・朱の会)の来訪、納涼大会、クリスマス会など季節の行事や小学生・保育所園児との交流を図っており、利用者の意向を尊重した参加を勧め、生活の質の向上にも取り組んでいる。また、ベット上での生活が多い方でも楽しめるような室内プラネタリウムなども実施や寝たきりの利用者を中心にアロマオイルを使用するマッサージをボランティアの方に実施してもらい、利用者の状況に応じて参加できるようにも配慮している。

◇ 特に改善を求められる点

*利用者意見交換会・家族会、支援計画見直し時の話し合いの機会、日々支援する中で利用者・家族からの意見や意向の把握に努めている。利用者・家族から出された意見や意向・希望は、個別の支援記録に残し情報共有され、カンファレンスで検討し計画に反映されるだけでなく、事業所全体の運営やサービスにも意見・要望は苦情としてとらえ、改善に向けて具体的に検討を行っているが、把握した意向等を分析し検討できる利用者や家族の満足に関する調査方法の検討が望まれる。

*記録管理体制は文書で明確にするほか、情報開示をする旨を説明しているが、情報開示について、利用者や家族等から情報開示を求められた際の、情報開示の基本姿勢、情報開示の範囲、利用者への配慮等、規定の作成が望まれる。

○ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の評価結果から改善すべき事項は分析・見直しを行い、今後も自己評価・自己分析を継続して、更なるより良い施設づくりに努めたいと思います。

○ 各評価項目に係る第三者評価結果
(別紙1)

○ 各評価項目に係る評価結果グラフ
(別紙2)